

令和7年度食育推進活動事業

学校給食会では、一年間を通して様々な食育推進事業を行っています。

① きくらげ・しいたけ栽培キット配付

6月・10月に配付する「きくらげ・しいたけ栽培キット」は、毎年の定番になりつつある事業です。

1回で100個以上のしいたけができ、
見応えもありました☆



生のしいたけを触ったことがない子も
初めて触りました。



「かさがやわらかい💧」「かわいい♡」
「しいたけのいいにおい」「しめっぽい💧」
「急に大きくなった！」との声が聞こえました。

② 展示用野菜配付

1月、浜松市産の展示用野菜を担当野菜業者に届けていただきました。

季節によって種類が異なるため、1月の浜松市産である「だいこん・セロリー・チンゲンサイ・こまつな・葉ねぎ・パセリ・みかん・レモン」等の中で、準備ができる青果を野菜業者が厳選しました。

学校では、全国学校給食週間の資料に合わせて一緒に展示していただいたようです。



全国学校給食週間では、学校給食の意義や役割について、児童・生徒や教職員、保護者や地域住民の理解を深め関心を高めるため学校栄養教職員の先生方を中心に毎年食育活動をされています。

学校給食会では、同時期に上述した事業を行うことで、視覚・嗅覚・触覚等から食育を支えることができると考えています。

③ プチヴェール・セロリー鉢植え配付

1月には静岡県磐田市で誕生したプチヴェールの鉢植えを希望する学校に配付しました。

鉢数に限りがあるため、抽選で漏れてしまった学校には浜松市の特産セロリーの鉢植えを配付しました。

プチヴェールは、静岡県磐田市で誕生したケールと芽キャベツを交配させたアブラナ科の新しい野菜です。初めて見る生徒・児童も多かったようです。

セロリーは特産地浜松では「セルリー」と呼ばれてきました。浜松市内では、特に伊佐見、神久呂、雄踏、浜北、豊西地区で栽培が盛んです。

特に冬場のセロリーは静岡県・浜松市の出荷量が全国トップクラスとなります。

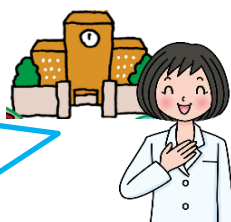
各校、工夫のされた展示になっていました。



プチヴェールを知らない子が多く、静岡県(磐田市)で開発された野菜であることも驚き、地元の野菜について知る良い機会になりました。

セロリーが苦手だったけど、給食に出るセロリーはおいしくて食べられるようになったと教えてくれる子もいました。

子供たちとお世話、調理をさせていただき、大変好評でした。毎日水やりをしており、収穫後の今も花をさかせて、種ができなかな？とまだ育てているところです。



スーパーなどでは見られない株の大きさや生え方にびっくりしていました。「お母さんにも見せてあげたいなあ・・・」とやさしい声も聞くことができました。

学校からの御意見より、観察や収穫、実食を体験する中で得られた経験が食育につながっていると感じます。

学校給食会では、これからも学校での食育活動の手助けができるよう食育推進事業に取り組んでいきます。

(公財)静岡県学校給食会浜松支部